

議会だより 2024

VOL.123

イベント

8月21日

8月臨時会

9月6日~12日

9月定例会

議会の新体制決まる	2
人事・条例の改正	4
令和5年度決算	5
令和6年度補正予算	9
6氏が一般質問	11

学校田の稲刈り

新体制決まる!!

議長に仙頭一貴氏

副議長に岡村星弥氏



仙頭 一貴議長



岡村 星弥副議長

8月21日に第1回臨時会が開催され、正副議長選挙、常任委員会、議会運営委員会などの組織改編を行った。議長選挙では、仙頭一貴氏5票、岡村俊彰氏4票（無効票1票）で、仙頭氏を議長に選出。

副議長選挙では、岡村星弥氏7票（無効票3票）で岡村星弥氏を副議長に選出した。

新しい各委員会の構成は、以下のとおり。

就任のごあいさつ

村民の皆さまには、日ごろより村議会の活動に、深いご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

このたび、第1回臨時会におきまして正副議長に就任することとなりました。

誠に、身にあまる光栄であるとともに、責務の重大さに身のひきしまる思いでございます。

本村には現在、大小多くの問題が山積しております。行政の監視機関の役割を果たしつつ、南海トラフ巨大地震対策、教育施設集約化計画、各産業の後継者不足対策などひとつひとつの問題に真摯に向き合い取り組んでい

きたいと考えております。

村議会が、村民の皆さまの幸せの一助となりますよう努力してまいります。そのためには、皆さまの声をお聴きかせいただき必要な政策提言、議会改革も行っていきたいと考えております。

今後とも、村議会の活動にご理解をいただき、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつにかえさせていただきます。

第1回 臨時会 (8月21日)

議会の

総務常任委員会



仙頭一貴	安岡公子	岡村俊彰
◎坂本史	○濱田圭介	

(◎委員長、○副委員長)

経済建設常任委員会



岡村星弥	西笛千代子	小松康人
◎山本俊二	○堀川友久	

(◎委員長、○副委員長)

議会広報編集委員会

◎西笛千代子	○岡村星弥	岡村俊彰	小松康人	坂本史	濱田圭介	堀川友久	安岡公子	山本俊二	仙頭一貴
◎委員長	○副委員長								

議会運営委員会

◎濱田圭介	○安岡公子	坂本史	山本俊二	岡村星弥
◎委員長	○副委員長			

令和6年 9月定例会

令和6年9月定例会は、9月6日から12日までの会期で開かれ、令和5年度決算認定、令和6年度補正予算など村長提出16議案を審議・採決した。

また、一般質問には6氏が登壇し、村政全般についてたずねた。その概要は以下のとおり。



筒井 義明氏

略歴
昭和33年生、和食。
任期は、令和6年11月1日から令和9年10月31日まで。

固定資産評価審査委員に筒井義明氏を選任したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

**固定資産評価
審査委員に
筒井義明氏
(再任)**

人事

法の改正に伴い、「被保険者証及び資格証明書」の文言を「資格確認書等」に置き換えるもの。
【全員賛成で可決】

**後期高齢者医療
広域連合規約の
変更**

法の改正に伴い、関係規定を改正するもの。被保険者証の返還に係る規定が削除されるため、本条項を改正するもの。
【全員賛成で可決】

**国の保条
改正例**

条例

2630万円を追加し、総額を58億1983万円とするもの。主なものは、定額減税補足給付金1800万円、非課税世帯等給付金(物価高騰対策)820万円など。
【全員賛成で可決】

**一般会計
(第3号)**

**令和6年度
補正予算**

**第1回
臨時会
(8月21日)**

令和6年 第1回 臨時会 審議結果

議案	結果	堀川 友久	坂本 史	山本 俊二	濱田 圭介	安岡 公子	西笛千代子	岡村 俊彰	小松 康人	岡村 星弥	仙頭 一貴
議案第41号 令和6年度芸西村一般会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

※「○」は賛成。「×」は反対。「議長」は採決に加わらない

一般会計

歳出 59億331万円

消 防

例月の訓練に加え、水防訓練や抜き打ち訓練、水上バイク隊の訓練などを実施するとともに、火災予防パレードや年末特別警戒を行い火災予防活動に努めた。

火災で3件の出動があった。

救急業務委託は、前年度より21件減少し296件の出動があり、急病185件、転医56件、負傷35件、交通事故など20件となっている。

防 災

村内一斉防災訓練を9月に実施し、避難訓練やトランシーバーを利用した情報伝達訓練、炊き出しなどを行った。災害用情報通信設備

として、第2・第3分団屯所、村の家、村民体育館・柔剣道場に公衆無線LANを設置した。

自主防災組織

備蓄品（アルファ米、飲料水、缶詰、缶入りパン）、毛布、簡易トイレ処理袋、ハイブリッド発電機、ポータブル蓄電池などを導入し、災害に備えている。

租税債権管理機構

村税の徴収率は、前年度より0.2%減少したものの98.9%で県平均を上回っている。

滞納繰越額についても、早期に滞納処分を行うことにより滞納額の縮小に努めている。

健康・福祉

がん検診、集団健診は、感染症対策として事前予約制とし、安心して受診できるよう環境整備に努めた。健診結果説明会は102人が参加した。

若年健診は7人、小児生活習慣病予防健診は35人が受診した。引き続き、若い時からの健康意識の向上に取り組んでいく。

5年度からは、学校保健等との連携事業を一部再開し、朝食づくりやマイ弁当づくりなどの調理実習を通し、食育や生活習慣病予防の普及啓発を行った。

また、4年ぶりに開催した芸西フェスタ健康まつりには、延べ361人が各健康ブースを体験した。

各ふれあいセンター

産業振興

は、健康維持や介護予防事業を行い、6か所で延べ1万9461人、外出支援バスは延べ3476人の利用があった。

新型コロナウイルスの5類感染症移行後、ふれあいセンターなどでの食事を再開したことで利用者の増加がみられた。

地籍調査事業は、和食乙地区の592筆108平方キロメートルの一筆地調査及び測量業務を行った。

移住促進は、東京・大阪で開催された「高知暮らしフェア」に出展した。また、高知県東部地域合同で企画した「東部移住フェア」を東京で開催し、東部地域の魅力を伝えた。

和食西北芝の分譲地

には、2戸の住宅が建設され2世帯7人が移住した。

園芸用ハウス整備事業では、繰越1件を含む高度化区分の4件のレンタルハウス整備、流動化区分の中古ハウス1件の整備支援を行った。

園芸用ハウス等リノベーション事業は、被覆資材の高度化に取り組んだ7戸の農業者のほか、炭酸ガス発生器や環境測定器の導入など、8戸の農業者に環境制御技術の支援を行った。

スマート農業推進事業は、2戸の農業法人に農薬用ドローンの導入支援を行った。
燃料タンク対策事業は、流出防止付燃料タンクと防油堤3基の整備支援を行った。
農業担い手確保育成は、5人の新規就農者に経営支援を、借地料



西分漁港荷捌き所

図った。

一般住宅の耐震対策事業は、耐震設計4件、改修工事5件、ブロック塀改修3件、家具転倒防止1件の支援を行った。

空き家対策事業は、老朽住宅除却3件に支援を行った。また、村が空き家を借り上げて10年間移住者に貸し出す中間管理住宅は、1件の改修工事が完了し8棟となった。

化事業で、和食排水機

場No1主ポンプの分解整備並びに除塵機操作盤の更新工事が完了した。5年度に発注したNo2主ポンプの分解整備並びに電気設備更新工事は6年度に繰り越した。

和食ダム建設事業は、堤体コンクリート打設や天端橋梁の架設、タワークレーンの撤去が行われた。また、ダム左岸側に人が通れるほどの支線管理道が整備された。

ふるさと納税

寄附額は4年度より約1億1173万円減少し、21億4457万円。ランキング上位の返礼品が、他市町村の返礼品の台頭による影響を受けたことが主な要因。

集落活動センター

シキビやサトウキビの収穫、販売、竹林整備に加え、草刈りや伐採の依頼が多くなり収益は増加している。

加工品については、グルメ&ダイニングスタイルショーに参加するなど販路拡大に努めた。また、白玉糖を使用したお菓子「白玉糖ラスク」が人気商品となっている。

土木環境

道路事業は、村道猪

ノ尻線の転落防止柵設置、村道桜ヶ池線、村道吉野線の舗装改修などを行ったほか、村道江尻線と国道との接続部の道路拡幅工事や村道と和食東線の水路改修、道路拡幅工事を行った。

治水対策は、2年度から進めている長寿命

を行った。

水産業は、ヒラメ稚魚の放流や漁港海岸、漁場の清掃活動支援を行った。また、西分漁港内荷捌き所は、屋根や柱の補修を行った。

商工業は、小規模事業者経営改善資金の利子補給を行い、商工業者の経費負担の軽減を

の負担軽減を5人の新規就農者に行った。また、指導農業者のもとで研修をしていた1人はJAサポートハウスにて就農した。

施設園芸燃油高騰緊急対策事業は延べ353戸の農業者に、肥料価格高騰緊急対策事業は延べ219戸の農業者に支援

教育

学校教育は、幼稚園、小学校、中学校のトイレの洋式化および中学校体育館床の塗装改修工事並びにベランダ手摺の改修工事を行った。

また、5年度開始のコミュニティ・スクールは、学校運営協議会を設置し、地域有識者や関係者・学校園所の組織代表が地域協働に

関する協議を行った。

社会教育は、日本語サロン開設をはじめ、夏休み子ども教室や生涯学習振興大会、成人式を行った。

社会体育は、ソフトボール大会、新春タコの山登り、村内駅伝を開催した。

資料館・美術館は、「なつかしのベーゴマコレクション」など16の企画展を開催し、資料館・美術館併せて4025人が訪れた。



日本語サロンスポーツ交流

質疑

問 岡村(俊議員)

河川総務費の工事請負費、繰越明許費900万円と不用額約1900万円の内容と、工事の進捗状況を問う。

答 山本土木環境課長

繰越明許費は、令和5年度に発注した工事の工期延長に伴い、全額を6年度に繰越したものだ。

不用額については、ストックマネジメント事業として、令和4年度に発注して、5年度に完了した工事費を支払った残額が主なものだ。

主要部材の調達は順調で、11月から分解整備を行い、今年度中に完成予定だ。



和食排水機場

答 溝渕 村長

排水機場は、下流部の治水に欠くことのできない施設だ。

適切な運用を行うために、工事の際などには、県ともしっかりと協議を重ねていく。

【全員賛成で認定】

貸付宅 資金

歳入298万円、歳出296万円。

5年度は、貸付元利金258万円を徴収し、1人の償還が完了した。計画的な償還により未収金額は減少している。

【全員賛成で認定】

国保会計

歳入7億2727万円、歳出7億2528万円。

国保事業における平均世帯数は730世帯、平均被保険者数は1251人で、前年度より23世帯の減少、被保険者は53人の減少。

保険給付費は4億8874万円で前年度比3.0%の増加。特定健診の受診率は37.9%で前年度比0.6%の増加。

医療費の抑制には、

疾病を早期に発見、治療することや日頃の生活習慣が大切であることから、特定健診の受診促進、受診率の向上に取り組んでいく。

【全員賛成で認定】

介護保険会計

歳入5億8755万円、歳出5億8729万円。

5年度末の人口は3585人、高齢者は1343人、高齢化率は37.5%となり前年度比0.2%増となっている。

1号被保険者は、前年度より2人減の1300人、認定者は8人減の261人、サービス受給者は2人減の212人であった。

介護給付費の歳出決算額は5億2434万円で、前年度より558万円の増額となった。給付費の高いサービ

スのうち、居宅サービス費は1億5917万円で前年度比23%の減少となったが、施設サービス費は2億7586万円で前年度比12%の増加となっており、増加傾向が続いている。

介護予防・重度化予防として、ふれあいセンターなどでの運動や栄養、口腔機能向上などの介護予防教室、村民会館での介護教室を開催した。

【全員賛成で認定】

後期高齢者医療会計

歳入8316万円、歳出8217万円。

被保険者数は801人で前年度より11人の増加。

「高知県後期高齢者医療広域連合」への負担金は、189万円増の7262万円となった。

【全員賛成で認定】

簡易水道会計

歳入3億7507万円、歳出2億3658万円。

村道正路2号線、村道西分線の老朽管の布設替え工事を行った。

また、西分一方向地区から瓜生谷地区に配水できるように水道管を新設した。

水道設備関連は、入野、井ノ本水源地の取水ポンプや津野地区の加圧ポンプの改修工事を行った。

配水管の破損や不具合の発生時には、早期の復旧を図り、安定した水道水の供給に努めた。

【全員賛成で認定】

下水道会計

歳入2億4237万円、歳出2億4075

万円。

経年劣化が進んでいる機械や電気設備の長寿命化を図るため、各年度における改築計画に係る実施計画に取り組んだ。

会計事務では、簡易水道会計と同様に、6年度からの公営企業会計導入に向けて、固定資産の整理や条例整備を行った。

下水道への接続は一般住宅18戸で、年度末加入率は78%となった。

【全員賛成で認定】

議会の動き

7月

- 8日◎ 安芸郡町村監査委員協議会研修会 【監査委員】
- 11日◎ 議会だより122号第3回広報編集委員会
- 12日◎ 安芸郡町村議長会議員研修(芸西村)
- 16日◎ 8の字ネットワーク四国地方整備局要望(香川県) 【議長】
- 17・18・22日◎◎◎ 決算審査(事前審査) 【監査委員】
- 19日◎ 例月出納検査 【監査委員】
- 安芸広域市町村圏事務組合定例議会 【議長】
- ごめん・なはり線総会 【議長】
- 25日◎ 決算審査 【監査委員】
- 30日◎ 高知県市町村議会議員研修

8月

- 1日◎ 8の字ネットワーク中央(本省)要望(東京都) 【議長】
- 15日◎ 芸西村戦没者追悼式 【議長】
- 21日◎ 令和6年第1回芸西村議会「臨時会」
- 23日◎ 例月出納検査 【監査委員】

- 26日◎ 高知県知事意見交換会 【議長】
- 29日◎ 令和6年第3回芸西村議会「定例会」議会運営委員会

9月

- 6日◎ 令和6年第3回芸西村議会「定例会」開会
- 11日◎ 令和6年第3回芸西村議会「定例会」一般質問
- 12日◎ 令和6年第3回芸西村議会「定例会」審議採決・閉会
- 議会だより123号第1回広報編集委員会
- 16日◎ 芸西村敬老会 【議長】
- 20日◎ 和食ダム視察
- 24日◎ 四国四県町村長町村議長大会(愛媛) 【議長】
- 25日◎ 令和6年度町村議会広報研修会
- 27日◎ 議会だより123号第2回広報編集委員会
- 安芸市議会挨拶 【議長・副議長】
- 30日◎ 高知県町村会特別委員会 【議長】
- 例月出納検査 【監査委員】

令和6年度

補正予算

施設整備基金積立金 2億2,000万円

木造住宅耐震改修補助金 1,485万円

一般会計(第4号)

補正額 2億9,401万円の増額
総額 61億1,384万円

主なもの

区 分	金 額
新型コロナワクチン予防接種委託料	879万円
防護柵設置工事費	450万円
道路改良工事費	1,500万円
村営住宅基礎断面修復工事費	242万円
木造住宅耐震改修設計補助金	498万円
木造住宅耐震改修補助金	1,485万円
老朽住宅除却事業補助金	837万円
災害対応型給油所整備促進事業費補助金	200万円
施設整備基金積立金	2億2,000万円

【全員賛成で可決】

主なものは、国庫支出金清算返納金835万円、診療報酬支払基金462万

9万円とするもの。
1379万円を追加し、総額を5億987

介護保険会計
(第1号)

基金積立金126万円など。
【全員賛成で可決】

198万円を追加し、総額を7億9095万円とするもの。

国保会計
(第2号)

2万円を追加し、総額を105万円とするもの。
一般会計繰出金2万円。
【全員賛成で可決】

住宅資金貸付会計
(第1号)

円など。

【全員賛成で可決】

後期高齢者医療会計
(第1号)

99万円を追加し、総額を8165万円とするもの。

後期高齢者保険料負担金99万円。
【全員賛成で可決】

簡易水道事業会計
(第1号)

収益的支出306万円を追加し、総額を1億1796万円とするもの。

主なものは、維持管理修繕費300万円など。

資本的支出300万円を追加し、総額を1億5159万円とするもの。

主なものは、公用車購入費190万円など。
【全員賛成で可決】

令和6年 第3回 9月定例会 審議結果

議案	結果	堀川友久	坂本史	山本俊二	濱田圭介	安岡公子	西笛千代子	岡村俊彰	小松康人	岡村星弥	仙頭一貴
議案第42号 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第43号 芸西村国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第44号 令和5年度芸西村一般会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第45号 令和5年度芸西村住宅新築資金等特別会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第46号 令和5年度芸西村国民健康保険特別会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第47号 令和5年度芸西村介護保険事業特別会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第48号 令和5年度芸西村後期高齢者医療特別会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第49号 令和5年度芸西村簡易水道事業特別会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第50号 令和5年度芸西村下水道事業特別会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第51号 令和6年度芸西村一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第52号 令和6年度芸西村住宅新築資金等特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第53号 令和6年度芸西村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第54号 令和6年度芸西村介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第55号 令和6年度芸西村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第56号 令和6年度芸西村簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第57号 高知県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

※「○」は賛成。「×」は反対。「議長」は採決に加わらない

議会だより お詫びと訂正

「議会だよりげいせいvol.122」（2024年6月配布）に掲載した内容に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

【訂正箇所】 7ページ 一般質問の教育次長答弁

2段落 3行目 (誤) 「初回の学校での検査を」
(正) 「初回の学校での健診を」
21行目 (誤) 「検査費用は委託契約により」
(正) 「健診費用は委託契約により」

議会の傍聴にお気軽においでください。

議会事務局
(TEL) 33-2137

詳しく知りたい方は、
村のホームページでも
会議録が閲覧できます。

委員 長 西笛千代子
副委員 長 岡村 星弥
委員 岡村 俊彰
小松 康人
坂本 史
堀川 友久
安岡 公子
山本 俊二
仙頭 一貴

編集委員

議場の音声を庁内放送しております。
庁舎3階へお越しになれない方も、庁舎1階・村民会館1階でもお聴きいただけます。
次の定例会は
12月の予定です。

一般質問

ここは^どう^する

9月定例会では6氏が登壇し、村政全般について質問しました。

安岡 公子 …… 11・12p

- ・災害時の対応は
- ・新型コロナワクチンへの対応は

岡村 星弥 …… 13p

- ・耐震化対策の重要性は

西笛 千代子 …… 14p

- ・高齢者の見守りは

仙頭 一貴 …… 14p・15p

- ・憩ヶ丘体育館、柔剣道場に空調設備を

岡村 俊彰 …… 15p

- ・消防団員不足と処遇は

堀川 友久 …… 16p

- ・避難タワーの活用は

災害時の対応は

初動対応を検討

総務課長兼健康福祉課長



安岡 公子 議員

問

安岡 議員

今回の南海トラフ地震臨時情報に対して、
どういう体制で対応したか。

今後、自主防災組織を育成・強化する必要があるのではないか。

また、秋の防災訓練の計画を聞く。

災害発生時に生活用水確保のために「芸西村防災用自動ポンプ設置補助金交付要綱」が平成20年に策定されているが、設置・管理の状況を聞く。

答

都築総務課長兼健康福祉課長

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表後、村民会館に避難所を開設し、村内放送で自主避難を呼びかけた。

その後1週間は、職員2名体制で役場に寝泊まりし、緊急事態に備えてきた。

地域防災計画では、

巨大地震警戒などが発表された際の対応については定めていたが、「注意」への対応の定めがなかったため、巨大地震警戒と同様の初動対応となった。

今後は、地域防災計画の見直しも含め、初動対応を検討していく。

自主防災組織については、地域住民が自主的に結成する組織であり、連絡協議会の中で、意見交換の場を設け、適宜助言を行っている。

秋の防災訓練は11月4日に、各地域での避難訓練に加え、役場の起震車による地震体験と防災に関する講演会を予定している。

災害時の井戸については、補助要綱を利用して3か所設置されている。破損1か所、あとは定期点検ができていない。

村設置の2か所は使用可能である。

問 安岡議員

自主防災組織については、昨年の避難訓練では18組織が不参加で、決算では自主防災関連の補助金の不用額が230万円になつている。この数字から見ても、活動の低下が見られると考えられる。

もっと行政が育成・指導していくべきではないか。

井戸については、地域ごとに偏りのない設

置・管理と補助金の増額などを検討すべきではないか。

答 都築総務課長兼健康福祉課長

井戸については、補助要綱の見直しも選択肢の一つとなり、内容の精査は必要と考える。

自主防災組織の育成強化については先進自治体での取り組みも参考にしながら、少しずつでも進めて行かなければならないと感じている。

新型コロナウイルスへの対応は

上乗せ助成は未定 総務課長兼健康福祉課長

問 安岡議員

10月から実施が計画されている、新型コロナウイルスの接種費用と接種体制について聞く。

ワクチン接種は、重症化を予防する手段であり、経済的負担を理由に接種を諦めることがないように助成が必要ではないか。

答 長崎健康福祉課長補佐

新型コロナウイルスは蔓延予防上、緊急の必要があると特例臨時接種として国主導で進めてきた。令和6年度からは、インフルエンザ同様となり10月中の接種開始に向けて準備を進めている。

65歳以上などの定期接種対象者の自己負担額は、国が出している

目安1万5000円のうち2割程度の3300円を予定している。定期接種の対象者でない人や、定期接種以外のタイピングで接種する場合は、全額自己負担となる。

答 都築総務課長兼健康福祉課長

現在県下で各市町村が足並みをそろえて実施する方向で進めている。本村独自の上乗せ助成は今のところ未定だ。

研修

安芸郡町村議会議員等研修会

安芸郡町村議会議員等研修会が、7月12日に芸西村民会館で開催され、7町村の議員、監査委員などが集まりました。

「南海トラフ地震に備える（黒潮町の取組）」についての講演があり、研修を受けました。

高知県市町村議会議員研修

市町村議会議員研修が、7月30日に県民文化ホールで開かれ、「市町村議会のデジタル化―できることの論点整理―」と題した講演など、研修を受けました。



村設置の防災ポンプ

耐震化対策の重要性は

大変重要だと認識している
村長



岡村 星弥 議員

年から2年度にかけて耐震化工事を行った。調査・点検は「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」に

基づき実施している。また、「非構造部材耐震設計施工指針」に基づき、設計を委託し工事を行った。

今回、耐震化工事を行った施設は、工事から数年しか経過していないため、近々行う予定はない。

答 都築総務課長兼健康福祉課長

建築基準法に定める定期検査の対象施設は、おおむね3年ごとに建築物の点検を実施している。

答 佐藤教育次長

「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」をもとに、平成25年度に耐震点検を業務委託し実施した。

答 溝渕 村長

日常点検を行い、観察を続けていく。国の指針も遵守し、必要最低限の予防的対策を検討することは、大変重要だと認識している。

問

岡村(星)議員

非構造部材の耐震化について、これまでに実施された調査・点検、耐震化対策の内容、どのような基準で調査・点検し、耐震化対策を実施したのか。今後、調査・点検を実施する予定はあるかを聞く。

答

池田総務課長補佐

平成30年度に8か所の調査を行い、令和元



答

池田教育長

避難経路の通行障害などの二次被害も想定されるため、耐震化対策は非常に重要である。目視点検を行い、不良箇所は、その都度、修繕対応しているため、現在のところ、新たに専門業者に委託しての調査は予定していない。

再度、調査・点検を実施し、耐震化対策を計画的に進めていく必要があるのではないかと。非構造部材の定期的な調査・点検、耐震化対策の重要性をどのように考えるか。

問

岡村(星)議員

高齢者の見守りは

コミュニケーションを大事に 村長



西笛 千代子 議員

問 西笛 議員

本村のひとり暮らしの高齢者の世帯数と、どのような見守りをしているのか。

答 荒井健康福祉課長補佐

ひとり暮らしの高齢者数は、4月時点305人である。

地域包括支援センターの活動は、あったかふれあいセンター、福祉館、民生委員や、か

つば市、集落活動センター、郵便局、新聞販売店など、地域の公的あるいは民間サービスによる情報交換や見守りを行っている。

職員が65歳以上のひとり暮らしの高齢者を中心に訪問、生活状況などの聞き取りをし、集いの場などの紹介をしている。

社会福祉協議会では、80歳以上の独居の人に無料の給食サービス、村からの委託で見守りに必要な高齢者にお弁当を配達する配食サービスを実施している。

このほか、希望者に

はボタン式の緊急通報装置の貸与を行っている。

現在、本村ではデジタル機器を活用した見守りサービスは行っていない。

答 溝 淵 村長

IT機器の導入は人口減少による労働力不足、家族の見守りに対する意識の変化もあり避けて通れない問題だと思ふ。

高齢者が生き生きと生活していくために憩いの場などに参加し、お互いを気遣い見守る。日々のコミュニケーションは大変大事であり、村独自の体制がつけられるように今後も努力をしていきたい。

憩ヶ丘体育館、柔剣道場に空調設備を

財源確保が課題 村長



仙頭 一貴 議員

問 仙頭 議員

憩ヶ丘体育館、柔剣道場の利用者は、村内外さままだ。

真夏日を超える猛暑日が、連日続くことがあり、空調設備なしで利用するのは難しいのではないかと。

また、非常時のことを考えると、この両施設は避難施設になっている。

避難施設には空調設備が必要なのは、近年発生している災害の現場を見れば分かる。

両施設に空調設備を設置するべきではないか。

空調設備は、県内でも大規模体育館のみに整備されているのが現状だ。

本年度から、体育館などに導入した冷風機を活用して熱中症対策を行っている。

答 都築総務課長兼健康福祉課長

猛暑や避難所の環境改善の観点からいえば、空調設備の導入は有効だ。

しかし、導入に関する費用や維持管理費などの経費についての検討も必要で、その増加分を使用料への転嫁をどうするかなどの課題

もある。今すぐに導入ということにはならない。

災害時の避難所の暑さ対策は、何らかの対策を検討していくべきだと思っている。引き続き他市町村の事例などの情報収集を行っていく。



問 仙頭 議員

どの市町村でも抱える問題は同じだ。近隣の市町村と足並みをそろえ、国や県に要望を行い、事業を実施するべきではないか。

答 溝渕 村長

大きな災害が発生すると、直ちに命を守る環境が必要となってくる。

その場合、空調設備は重要性を増してくると考える。

各自自治体からの声を集約して、公共施設への空調設備設置の補助金の創設など、財源対策の声を上げていくことも大事だと考える。今後検討していきたい。

消防団員不足と処遇は

地域での密着性を高めて行く 村長



岡村 俊彰 議員

問 岡村(俊) 議員

現在、本村の消防団員数は定数90名に対し、76名の在籍で定員不足となっている。

消防本部を持たない本村にとって、大規模災害時には団員不足が懸念される。

今後、村のイベントなどで団員活動の一つとして、新規入団募集のブースを設置してみたい。

答 郡築総務課長兼健康福祉課長

募集活動については、11月に開催される「みのりの王国芸西フェスタ」でブースを設置して、広報活動ができないか消防団と協議したい。

団員は、非常勤特別職である一方、他に本業を持ちながらの活動で、本人・家族・会社などの理解や協力が不可欠だ。

今年度、初めて女性団員も入団しイメージも変わっていき、消防団の魅力や訓練の活動内容を地道に広報し、団員確保につなげていきたい。

問 岡村(俊) 議員

団員の出勤手当は、今年3月定例会で改正されたが、危険手当や時間外手当の支給をするべきではないか。

答 溝渕 村長

報酬の支払い方法や報酬額の改定などは、消防庁の通知に基づいており、適切に改善が図られていると考えている。

今後も各地域の実情に応じた、適正な団員数が確保できるように、消防団を支援する組織との連携強化、また団員の適切な研修と教育

訓練を実施していく。これまで、比較的消防団と接点の少なかった分野にも、PR活動や交流の幅を広げ、地域での密着性を高めていくことが、団員確保にもつながっていくと考えている。

いざというとき役に立つスキルが身につく、世代を超えて繋がりあえる仲間に出会える、私達の大切な街を守る。

ドラマ『My消防団Diary』公開中!

消防団員募集中

総務省消防庁 Fire and Disaster Management Agency

避難タワーの活用は

使い方、活動状況を研究 村長



堀川 友久 議員

問 堀川 議員
避難タワーの活用について聞く。

災害はいつ発生するか分からず、タワーを使用した避難訓練を実施することで、災害時の避難ルートの確保、確認ができるのではないかと考える。

また、タワーを曜日、時間を決め開放できないか。開放することで、住民目線のタワーの改善点など意見が聞けるのではないか。

答 都築総務課長兼健康福祉課長
タワーは災害緊急時のために造られたものだとわかつているが、タワーからの景観は良く、開放することで、観光スポットの一つになると思うが考えを聞く。

答 訓練の機会を通じてタワーへの順路の確認や、



和食津波避難施設

タワーが上がってもらうことで、防災意識の向上も期待できると思う。

今後は地域の自主防災組織とも協議し、できるところから進めていければと考える。

避難タワーの開放について、タワーを身近に感じてもらうことは、防災意識の向上に有意

義と思う。

自主防災組織連絡協議会に、タワーの開放について提案したこともあるが、事故や防犯上の問題点などあり、前向きな意見をもらえなかった。

過去には、地域の行事で一時的に許可した経緯もあるが、その後「開放してほしい」などの意見がないため、開放していかないのが現状である。

答 溝 刈 村 長

地域それぞれに事情が異なるので、近隣住民の理解を得られるよう努力を続けていきたい。

他市町村でのタワーの使い方、活動状況を研究していきたい。

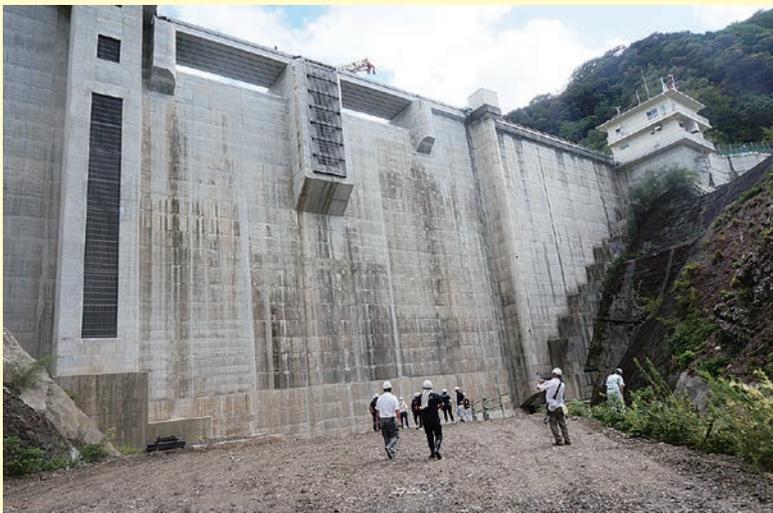
常任委員会活動報告

経済建設常任委員会

和食ダム視察

(9月20日)

左岸に発見された亀裂は修復され、コンクリートの打設や管理施設の設置もされました。10月2日より試験湛水が始まり、異常がなければ完成となります。



和食ダム底部